

### ●スライド 1

私はマズ・ストーガードと申します。フレッシュミートのグローバルコマーシャルの責任者です。

20年間デニッシュクラウンで働いており、これまで主にヨーロッパ市場を担当してきました。

### ●スライド 2

それでは、まず 2023 年の世界の豚肉市場の概況について、お話していきたいと思います。

### ●スライド 3

2022 年の EU27 か国における屠畜頭数は、2021 年と比較して 5%減少しました。

ドイツ、ポーランド、ベルギーで最も大幅な減少が見られ、-9%でした。デンマークとスペインでは、-4%と-3%の減少となりました。

### ●スライド 4

EU での豚飼育頭数の推移を見ると、飼育頭数は 2021 年と比較して 2022 年に 6%減少しました。

屠畜豚、子豚、母豚が大幅に減少しました。

このような状況を鑑みれば、EU での屠畜頭数の大幅な減少は 2023 年上期まで続くと想定されます。2022 年 12 月時点での飼育頭数はデンマークとドイツで最も減少しており、オランダとフランスでは小幅な減少となっております。

こうしたことから、2023 年下期も EU での屠畜頭数の増加は見込めないと思われます。

2022 年夏からの北ヨーロッパでの大幅な減少はスペインによって補われると見込んでいましたが、PRRS（豚繁殖・呼吸障害症候群）の流行により、そのようにはなりません。

そのため、現在価格の上昇が見られます。ヨーロッパ全体の屠畜頭数が減少しており、北ヨーロッパと南ヨーロッパともに在庫がひっ迫している状況です。

### ●スライド 5

EU の屠畜頭数は、2023 年第 3 四半期には再び増加すると予想しています。

それまでの間は、北ヨーロッパでは大幅な減少が続き、回復が見込まれていたスペインでも生産増加は限定的であろうと思われます。

それ故の価格上昇なのですが、この高い価格が市場に浸透し受け入れられない限り、屠畜数が増加することはないと思われます。

### ●スライド 6

ご覧のとおり、生産者価格は上昇傾向にあります。

国により多少のばらつきがありますが、すべてに共通するのは、ヨーロッパのパッカーはアジア市場に依存していることです。

この上昇した価格をいかに早くアジアの市場価格に浸透させることができるかが鍵になります。

今秋には販売価格は再び上昇すると思われます。

### ●スライド7

次に、デニッシュクラウンについて簡単に説明させていただきます。

昨年度は、1870万頭の豚（および母豚）を屠畜し、売上高は640億デンマーククローネ（約1兆2500億円）でした。合計57か所の屠畜場と加工工場、46か所のケーシング工場、10か所の倉庫、そして、世界26か国に49か所のオフィスがあります。

デニッシュクラウンは、デンマーク、英国、ポーランド、スウェーデンを中心に136か国への市場アクセスを持っています。私たちは日本市場と強いビジネス関係を築いており、デニッシュクラウンの対日輸出はデンマークから日本への食品輸出の70%、デンマークから日本への総輸出の20%を占めています。

現在、5,404戸の畜産営農組合員によって構成されており、デニッシュクラウンには26,000人以上の従業員が働いています。

### ●スライド8

デニッシュクラウンは、1887年までさかのぼれるデンマークの協同組合活動の中で強固な基盤が築かれました。

デンマークの生産者は、品質と食品安全に重点を置いた独自の生産およびマーケティング組織を作り上げました。長年にわたり、デニッシュクラウンは常に市場の声に注意深く耳を傾けてきました。これにより、強固な事業基盤が築かれています。

### ●スライド9

高品質、食品安全、効率性、動物福祉、そしてサステナビリティがデニッシュクラウンの事業の根幹となっています。

### ●スライド10

デンマークでは、農場から食卓までの豚肉生産全体を網羅する様々な品質システムがあります。

食品安全、動物福祉、トレーサビリティに特に重点を置いたデンマークの品質システムは、デンマークの養豚場がすべての法的規制と業界示準に準拠していることを保証し、文書化されています。

一次生産、つまり農場に関することは、『DANISH Product Standard』という基準に定められています。豚の輸送に関することは『DANISH Transport Standard』という基準に全て網羅されており、食肉処理場に関することは『Global Red Meat Standard』という基準によって網羅されています。

デンマークの豚の健康状態は非常に良好です。欧州医薬品庁から引用したこの図は、ヨーロッパ31か国における家畜用抗生物質の売上高を示しています。

養豚産業が盛んな国の中で、デンマークは抗生物質の使用量が最も少ない国です。

### ●スライド 11

私たちの豚は、独自の子取りと飼料生産を備えた生産者自身のバリューチェーンの中で飼育されています。

私たちは、外部から豚を購入しません。

私たちは、構成組合員である養豚営農者から出荷される豚のみを処理しています。

私たちと話すということは、養豚生産者と直接話すということです。

私たちには独自の安全を担保するシステムがあります。

デンマークは 8,000km に及ぶ海岸線に囲まれており、デンマークとドイツの 70km の国境にはフェンスが築かれています。これらによって、アフリカ豚熱のリスクを最小限に抑えて、私たちの豚生産を守っています。これらがデンマークと他国との違いになります。

### ●スライド 12

デニッシュクラウンは、去勢に関する新たな戦略を実施します。

### ●スライド 13

デニッシュクラウンは、去勢を段階的に廃止してまいります。

これまで、日本市場限定で去勢を行なってきました。

しかし今後は、私たちは主要競合他社と同様に去勢を行ないこととします。

私たちの“去勢なし戦略”は、豚への苦痛を与えることがなくなり、また、不必要な医療行為がないため動物福祉を向上させます。

去勢されていない雄豚は飼料効率が高く、飼料の消費量が減ることから、去勢しないことで豚 1 頭あたり約 20kg の CO2 排出量を削減することができます。

去勢を行わないということは、飼料の消費量が減り、去勢時の医療行為にかかる費用もかからないため、農場での生産コストを軽減することができます。

### ●スライド 14

デニッシュクラウンからデンマークの豚肉を購入することに、どのような利点があるのでしょうか？

私たちの豚は健康的で、ヨーロッパの豚肉生産大国の中で最も抗生物質の使用量が少ない豚です。

私たちには独自の安全システムがあります。

デンマークのシステムは、食品安全、トレーサビリティ、高い豚肉品質に重点を置いています。

私たちは高度な動物福祉を継続的に改善しており、主要競合他社と同様に雄豚の去勢を行わないという戦略を実行します。

### ●スライド 15

ご清聴ありがとうございました！